

令和7年度 卒業論文要旨

学 生 氏 名	千葉 裕太
論 文 タ イ ト ル	薬と毒－麻酔薬の歴史とオーバードーズ
要 旨	<p>本論文の目的は、「薬」と「毒」の法律上の違いと化学的特性を理解した上で「薬」が「毒」として扱われるようになった事例として麻酔薬の歴史とオーバードーズ(薬の過剰服役)の問題を考察することである。</p> <p>第1章では薬機法の基づき「薬」の定義や医薬品がどのように規定されているのを整理する。第2章では毒物及び劇物指定令に基づき「毒」の種類を分類し毒ガス事故を事例としてその危険性を理解する。第3章では薬と毒の関係を「薬にも毒にもなる」生物活性成分であるアルカロイドと多くの市販医薬品に含まれているアセトアミノフェンを事例として論じる。第4章では麻酔薬の歴史について、花岡青洲の世界初の全身麻酔薬開発の歴史と当初は麻酔薬として使用されていたコカインが麻薬として扱われるようになった歴史を比較する。第5章では日本におけるオーバードーズの実態を調査し、その対策の脆弱性を指摘し、OD乱用者減少に向けてその対策を検討する。</p>